

今年の夏は

グリーンカーテンで 涼しく過ごそう!

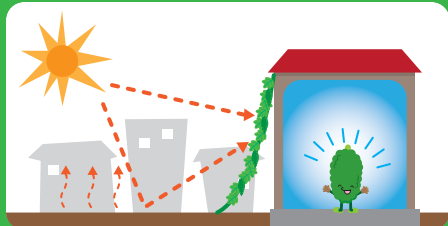


グリーンカーテンが夏を涼しくしてくれる3つの理由

1 日射の熱エネルギーを 約80%もカット!

十分に葉が茂ったグリーンカーテンは、日射しの熱エネルギーの約80%をカットする遮蔽効果があります。ちなみに、すだれの遮蔽率は50~60%、高性能の遮蔽ガラスでも55%程度とされます。

情報提供: 積水ハウス株式会社



2 葉の蒸散作用で 放射熱を抑える。

植物は水を吸い上げ、葉から水分を蒸散させます。その時に気化熱を奪うことで葉の温度上昇が抑えられます。グリーンカーテンは日陰をつくるだけでなく、室内への放射熱も抑えてくれます。

放射熱とは: 物体から物体に電磁波のかたちで伝わる熱のこと。



3 家の周囲の 表面温度を抑える。

強い日射しで表面温度が高くなった窓付近の地面や壁、エアコンの室外機などから熱が放出されるのも暑さの原因。グリーンカーテンで多くの部分を日射から遮ることで、放射熱の発生と進入を抑えることができます。

赤外線熱画像写真と 実画像の比較

グリーンカーテンの外と中では、人体や地面の表面温度に大きな差が出ます。

写真提供: NPO法人WAKUWAKU西郷





ゴーヤを育てて、 グリーンカーテンをつくらう!



4月

土をつくる・
種をまく時期

1 園芸用の土を準備する。

30cmほどの深さがあるプランターに、底が隠れるくらいの石を敷き詰め、土をほぐしながら、ふんわりと入れる。

2 種の準備をする。

種の外皮は硬くて水が浸透しにくいので、2時間ほど水に浸す。ビニールポットに数粒ずつ、種をまいた上に約1cm厚さに土をかぶせて水をやる。

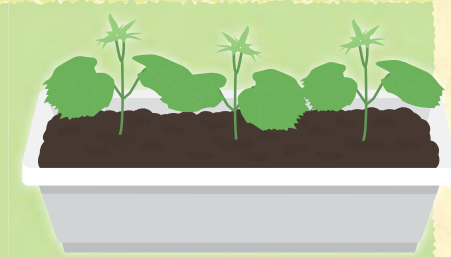


5月

元気な苗を
育てる時期

3 プランターに移す。

芽が出て本葉が2~3枚出てきたら、元気のないものは間引きする。ポットの底から根が出てきたら、根を傷つけないように20cm間隔で土ごとプランターに植え替える。

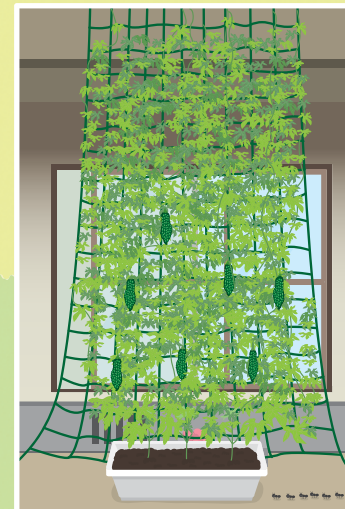


6月

どんどん
成長する時期

4 誘引する。

つるは柔らかいので、丁寧に広げるようにして、うまくネットにからめる。中心の一番太い茎がネットの上端まで達したら、その先を2~3cm切る(摘芯)ことで、つるが元気に成長する。



7月~

花が咲いて
実がなる時期

5 肥料をあたえる。

花が咲いて実がなる頃から1ヶ月に一度肥料(固形)をあたえるとよいでしょう。(参考:液体肥料は1週間に1回が目安です。)

● 水やりについて。

ゴーヤは根からたくさんの水分を吸い上げるので、晴れた日の朝か夕方には、1日に1回たっぷり水をあげましょう。

● ネットはつるが伸びる前に張る。

まっすぐにピンと張ることで、つるがからみやすくなります。園芸ネットは網目10cmのサイズが風も比較的通りやすく、手入れもしやすくおすすめです。

詳しくは [グリーンカーテンプロジェクト](#)

検索